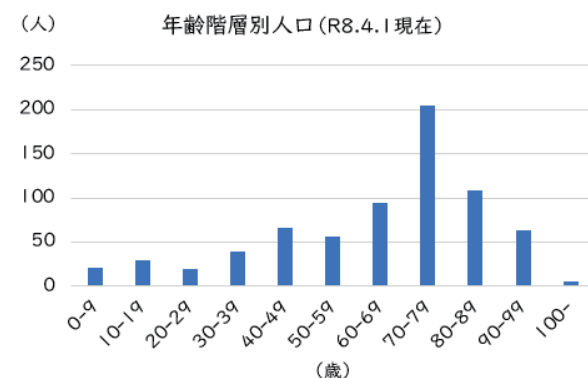


下分・左右内地区地域福祉活動計画

下分は、鮎喰川に沿った東西に伸びる土地と左右山谷、喜来谷それぞれに流れる支流域によって形成されています。

下分まちづくり実行委員会が中心となり「下分七夕飾り」や「防災訓練」「よこの市」など暮らしている人たちの手で行われる行事が多数あり、準備や設営をとおして住民同士の交流の場となっている。



地域の強みを活かして5年後・10年後に向けた取り組みの第1歩

地域住民から見た地域の状況

地域の強み	【絆・活気・イベント・地域のパワーカ】 ・地域のイベント（七夕まつり、よこの市、明王寺桜まつりなど）が多い ・声かけに対して参加者が多い ・地域のコミュニティがある ・地域の人が温かく、気軽にあいさつや話ができる関係 ・新しいことを始める力 ・お年寄りが活動的、移住者が多い
地域の弱み	【人口減少・少子高齢化】 ・イベントを手伝ってくれる人や出役に来る人が減った ・昔のように助け合いが少なく寂しい ・隣近所の会話もなく、お付き合いも少ない ・一人暮らしの人が心配 【農業・害獣被害】 ・田んぼをやめる人が増え、耕作放棄地が多い
地域の生活課題	【担い手不足・継承】 ・お世話をする機会が減った ・長年続いているイベントが続けられるか ・地域の担い手、後継者不足 【孤立・人口減少】 ・ゴミ出しが大変 ・ひとり暮らしの方の支援をしたいけど、なかなか難しい ・年齢とともに話し相手がいなくなる



下分・左右内を元気にする合いことば 「いけるで！」



【地区の状況・地域活動者数（一部抜粋）】 R 8.4.1 時点

■人 口	709人	■世帯数	394世帯
■高齢化率	62.8%	■部落数	45 地区
■1人暮らし高齢者数	158名	■民生委員・児童委員	8 名
■高齢者サロン	3箇所	■教育関係	1 箇所
■防災関係	消防団下分分団 4部 自衛消防隊 10地区 避難場所 3箇所		
■主な団体	下分まちづくり実行委員会、下分地区チャレンジ神山推進協議会 下分地区民生児童委員協議会、下分芸能振興会、 神山町消防団下分分団 ほか		

タイトル	目 標	なにを・どうする
イベント	・イベントを継続し、交流する場をつくる ・若者や移住者に準備を手伝ってもらい、イベントの後継者をつくる ・お見合いイベント等、新規イベントの開催	・それぞれが身近な人や移住者に声かけをする ・無理をせず、できる範囲でイベントに参加をする ・持続可能なイベント規模にする ・若いリーダーの発掘 ・後継者をたくさんつくる（「やろうぜ！」と声掛け）
ゴミ出し支援	・家の前からゴミ収集場までのゴミ出しの手伝い	・ゴミ出しに困っている人に声をあげてもらう ・近隣の人に日頃から声かけをする（＝地域のつながりに） ・近所の人がついでに持って行く ・ゴミ出しに困っている人を事前に審査（登録制？） ・有償ボランティアグループを立ち上げる（1回●●●円）
見守り	・ひとり暮らしの方の生活感の有無を見守り、普段の行動にない様子を見たら連絡を取り合う	・無理のない範囲で普段の生活の中で見守り、ちょっと異変を感じたら知り合いや民生委員、社協、役場、公民館に連絡をとる ・畑の状況（草が多いなど）で安否の確認をする
はたけ ケーション	・畑仕事でのコミュニケーション	・通りすがりのあいさつから始まるコミュニケーションを大事にする ・高齢者、移住者、若い人、学生が一緒になって野菜を作り食べる ・すだちや田んぼ、野菜などしたい分野に応じてしたい人が集まる（コミュニティができるのでは） ・みんなで野菜の品評会をする